



ちょっとまって！
もう一度
考えましょう！

やめて！！家族同意だけの「脳死」臓器摘出！市民の会
尊厳死法いらない連絡会

事務局：

〒530-0047 大阪市北区西天満 1-9-13-501 号

冠木克彦法律事務所内

TEL:06-6315-1517

<http://www.jca.apc.org/~yamete/>

終末期医療に関する事前指示書には

危険 がいっぱい！

ちょっとまって！



事前指示書



「自己決定」はまやかし！

実際は「早く死なせる」圧力です。



最近、事前指示書に医療を「希望しない」と
書くように勧められるのが多いようですが、
なぜですか？

医療を中止？

本人の意思＝「望んだ
事」として医療を中止で
きるからよ。



国は医療費を抑えるために病院を減らし、病
院での入院は「治る見込みのある」治療を中
心に短期間だけにしていこうとしているの。

高齢者だけでなく、がんや透析等治療を長期に受け
ている場合も、「看取り」は病院（医療）ではなく
介護施設や在宅で行えるように準備しているのよ。

病名ごとの入院治療費一日〇円という定額制は大問題です。例
えば、肺炎に強力な抗生物質を使うと高額なため病院が赤字に
なる状況です。でも、表向きは患者さんの「自己決定」で「抗
生剤を投与しない」ということになるのです。厚労省も医師も
治療しなくても責任逃れができます。



事前指示書に自宅と書いたら救急
車で病院に運んでくれないの？

今は、厚労省は「救急車を呼んだら救急隊は救命
処置をして、病院に運びます」と言ってる。でも、
他方で「救急車を呼ぶのは高齢者ばかり」「医療
費が高いのは高齢者が多くなっているから」「最
期は自宅での看取りをすすめます」などいろい
ろな言葉を使ってるわ。高齢者が医療を受けにくい
状況がじわじわ作られているのよ。

なんだか救急車で病院に運ばれる
のが、悪いみたいに思えてきた。



もし、事前指示書に、「家で死にたい」と書
いていけば家族も救急車を呼ぶことをためら
うし、助かるかもしれないのに、家で死ぬこ
とになってしまう危険が高くなるわ。